縮尺 まとめ

縮尺の表し方と、長さの計算。

縮尺とは

実際の長さを縮めた割合のことです。地図や設計図は縮図で、縮尺が書いてあります。

表し方：1/25000、1:25000、ものさしの図（0　250　500m）。どれも「実際の長さは地図の25000倍」という意味です。

計算のしかた

実際の長さ ＝ 地図上の長さ × 縮尺の分母

地図上の長さ ＝ 実際の長さ ÷ 縮尺の分母

縮尺の分母 ＝ 実際の長さ ÷ 地図上の長さ（単位を cm にそろえる）

単位の換算

1m ＝ 100cm　　1km ＝ 1000m ＝ 100000cm

れい：縮尺1/25000の地図で4cm → 4 × 25000 ＝ 100000cm ＝ 1000m ＝ 1km